

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		農業集落排水接続推進事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	050501000122
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独	所属課	070101
政策体系	総合計画の施策名	0505	下水道の整備					下水道課
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり				課長名	
	施策名	05	下水道の整備				グループ	下水道G
	手段名	01	①下水道の接続と浄化槽の設置				担当者名	
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成18年度~)	
法令根拠					桜川市農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例			
【Do】					1. 事務事業の現状把握 (その1)			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>【事務事業の内容】 供用開始している8地区 (南飯田地区、長方地区、富谷地区、高久地区、大国西部地区、源法寺地区、谷貝南地区、谷貝北地区) の接続率向上に向けた推進事業を実施しています。</p>		<p>下水道接続キャンペーン、SAKURAフェスティバルに下水道コーナーとして出店し市民に対してパンフレットの配布や、啓発品を配り、接続についてのご理解、ご協力をお願いする。</p>	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
下水道接続キャンペーン、SAKURAフェスティバルに下水道コーナーとして出店し市民に対してパンフレットの配布や、啓発品を配り、接続についてのご理解、ご協力をお願いしていく。	チラシ等配布回数	回	3.00	0.00	3.00	3.00	3.00
	PR活動	回	3.00	0.00	3.00	3.00	3.00
	戸別訪問件数	件	260.00	0.00	150.00	150.00	150.00
				0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
農業集落排水区域で、未接続の世帯、事務所	区域内未接続者世帯数	世帯	720.00	690.00	660.00	630.00	600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
農業集落排水に接続することにより、生活環境の改善が図られるとともに、下水道使用料の収入確保を図る。	新規接続者	世帯	30.00	28.00	30.00	30.00	30.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	39	0	42
		事業費計 (A)	千円	39	0	42
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
				10 需用費	42	
		合計	0		合計	42

事務事業名	農業集落排水接続推進事業	事務事業No.	50501000122	所属課	下水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和57年9月霞ヶ浦富営防止条例が制定され、特定事業所の排水規制が行われるようになった。 霞ヶ浦が湖沼水質保全特別措置法の指定を受け、県として霞ヶ浦流域の市町村に水質浄化を推進している。 平成19年度から茨城県接続向上対策として、集落排水の接続率が低い地区の市町村の会議を年4回実施している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 接続に関しては、少子高齢化に伴い高齢者世帯が増加しており、接続は見送られている世帯がある。また、接続工事費が高額で接続できないという意見や、使用料を支払うのは難しい、という意見をいただいている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目		
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	加入者が同意した事業であり、多額の投資をしており、多くの世帯・事業所に接続することは、市民の生活環境が改善され、公共用水域の水質改善に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	国費事業であり市としても推進してきた。経済状況が変化し接続に苦慮はしているが早期接続を願ひし、接続推進しなければならない。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	未接続者に対し接続工事費補助制度を活用し負担の軽減を図っている。今後は、戸別訪問の対象者を絞って効果的な接続促進を実施していく。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	施設運営が困難となり市の財政を圧迫する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他事業との連携は困難である、地区役員を交えて理解を求めている。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	地区役員や施設管理組合関係者等に接続推進をお願いする。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	未接続者対象であり公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 接続費用は個人負担になるため、接続を推進しお願ひするしかないのが現状である。																								
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 接続工事費補助制度を活用し負担の軽減を図っている。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)	
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出		確認欄 <input type="checkbox"/>	